

各種目で子どもたちが大活躍!



全道大会に選抜された団体メンバー

■伊藤ひかりさん(弟子屈中2年) 技術スキー大会で全道大会出場
弟子屈スキースポーツ少年団所属の伊藤ひかりさんが、第5回北海道ジュニアスキー技術選手権ブロック大会で3連覇を果たし、3月28日に旭川市で行われる第8回北海道スキージュニア大会で



上位入賞を目指す伊藤さん

大会を前に、主将の吉本佳音さんは「新チームになってからの成績はいま一歩ですが、今までの練習の成果を発揮し、昨年12月に行われた全道中学生ソフトテニス大会の経験を生かして頑張ってください」と、抱負を語ってくれました。

1グ北海道中学校ソフトテニス団体研修大会に選抜されました。大会には、北海道選抜チームや札幌北野台中学校、岩見沢光陵中学校などの道内屈指のチームが出場。チーム対抗での団体戦で優勝を目指します。

■弟子屈中学校女子テニス部
弟子屈中学校女子テニス部が、3月14日に新十津川町で行われるウインターリーグ北海道中学校ソフトテニス団体研修大会に選抜されました。

大会後、キャプテンの小野寺宏太君(弟子屈小5年)は「新人戦大会で初めて優勝できてうれしい。次は、3月に行われる釧路地方大会での優勝を目標に、チームみんなで頑張りたいと思います」と、今後の目標を語ってくれました。

■弟子屈バレーボール少年団大活躍
弟子屈バレーボール少年団が、1月31日に釧路市で行われた第34回釧路地区小学生バレーボール新人戦大会で見事、初優勝を飾りました。昨年12月に行われた管内大会に続いての優勝で、新チームとなつてから2大会連続で、管内大会での優勝を果たしました。



初優勝のバレーボール少年団員

伊藤さんは、技術スキー大会には3年連続での出場となります。大会を前に伊藤さんは「今シーズンは練習不足でブロック大会に出場したため、イメージよりも悪い内容でしたが、3連覇できたことは今まで以上にうれしかったです。全道大会までにはしっかりと滑り込みをして、上位入賞を目指します」と、笑顔で目標を語っていました。

町立小・中学校体育館利用者募集します
町教育委員会では、学校教育活動に支障のない場合、町内の小・中学校の体育館を、一般のスポーツ団体に開放しています。平成22年度に体育館の利用を希望される団体の登録受け付けを開始します。公民館内社会教育課体育振興係に申し込みください。

小さな掛け金・大きな保障
スポーツには、けがや事故は付き物といっても過言ではありません。万が一に備え「スポーツ安全保険」に加入することをお勧めします。

■全国・全道大会結果(敬称略)
第47回全国中学校スキー大会/更科紅瑠美(弟子屈中3年)スラローム26位
第39回東北北海道バドミントン選手権大会/栗田佳典(川湯中2年)シングルス2回戦敗退/長谷川千紗・鈴木亜美ペア(ともに川湯中2年)ダブルス2回戦敗退

■町立小・中学校体育館
町教育委員会では、学校教育活動に支障のない場合、町内の小・中学校の体育館を、一般のスポーツ団体に開放しています。平成22年度に体育館の利用を希望される団体の登録受け付けを開始します。公民館内社会教育課体育振興係に申し込みください。

■町立小・中学校体育館
町教育委員会では、学校教育活動に支障のない場合、町内の小・中学校の体育館を、一般のスポーツ団体に開放しています。平成22年度に体育館の利用を希望される団体の登録受け付けを開始します。公民館内社会教育課体育振興係に申し込みください。

■町立小・中学校体育館
町教育委員会では、学校教育活動に支障のない場合、町内の小・中学校の体育館を、一般のスポーツ団体に開放しています。平成22年度に体育館の利用を希望される団体の登録受け付けを開始します。公民館内社会教育課体育振興係に申し込みください。

着地型観光をけん引する地域密着型の旅行会社 (株)ツーリズムてしかがの設立を高評価

地域一体の再生が大事

清水氏

てしかがえこまち推進協議会(会長・徳永町長)と町は、1月15日に町公民館で「新春観光講演会」を開催しました。講演会では「既存の資源を活かした観光の仕組みづくり」をテーマに、(株)JTB常務取締役で立教大学観光学部特任教授の清水慎一さんと、観光カリスマで町の観光まちづくりアドバイザーの山田桂一さんが講演。やり方が変わったと言われる昨今の観光振興や、その主体とはなどについて、事例を交えながら紹介しました。

清水さんは冒頭「観光振興、観光立地とはどういうことなのかをしっかりと押さえていないで、ただ、何となくお客が集まりそうだからB級グルメでもやろうかな」と述べ、はやりの取り組みに「刺さりました。自身が携わっている青森県大鰐町の「OH!」(大鰐元気隊)での取り組みを例に、地域での地道な活動の大切さを訴えました。

さらに「弟子屈町では、行政主導ではなく町民が必要を感じて出資し、地域の旅行会社「ツーリズムてしかが」を設立したことは素晴らしい」と同社の設立を高く評価し、絶賛しました。



講師の清水さん(上)と山田さん



講師の清水さん(上)と山田さん

また、清水さんは弟子屈の観光に関するデータを次のように分析。「現在、川湯温泉の宿泊単価平均は8千221円、九州の湯布院は2万2356円。個人の旅行者の割合が同20%、42%、15人以上の団体の割合が同52%、8%である。団体旅行は絶対期は旅行者全体の40%、個人グループが43%、教育旅行が17%。しかしながら現在は、同20%、72%、8%。消費額でいうと、団体は全体の8%とされている。このあたりをしっかりと考へてほしい」と話し、宿泊単価を上げ、激減している団体旅行客からの脱却、入り込み人数増でなく、収益増を考えるよう促しました。



講師の早川弁護士

野外活動の安全管理を学ぶ
てしかがえこまち推進協議会(会長・徳永町長)と町は、1月30日、摩周観光文化センターで「てしかが野外活動スキルアップ講習会」を開催しました。この講習会は「野外活動を安心して楽しむために」をテーマに、早川真一さんの二人が講師となり、進められました。

早川さんは「最近のアウトドアアウトドアの安全と題し、さまざまなアウトドア事業における事故事例と対策」について、例を挙げながら、事業者として解を深めようという趣旨で説明しました。一方、小倉さんは「アウトドア



熱心に聞き入る参加者